

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

2021年 7月 30日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所 （法人にあつては、主たる事務所の所在地）

滋賀県高島市新旭町新庄1288-1

氏名 （法人にあつては、名称および代表者の氏名）

信和精工株式会社

代表取締役 山崎 寛明

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~・~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあつては、名称 および代表者の氏名）	信和精工株式会社 代表取締役 山崎 寛明
事業者の住所 （法人にあつては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県高島市新旭町新庄1288-1

1 事業所の概要

事業所の名称	信和精工株式会社 新旭工場					
事業所の所在地	滋賀県高島市新旭町新庄1288-1					
主たる事業	細分類番号	2	5	9	4	玉軸受・ころ軸受製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計 画 期 間	2021 年度 ~	2023 年度
---------	-----------	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

信和精工株式会社は、琵琶湖と比良山系の山々が連なる、水と緑に恵まれた景観を持つ自然豊かな高島市に新旭工場、朽木工場を有し、NSKグループの一員として軸受部品(鍛造～旋削)を製造しています。

私達は、この恵まれた自然環境を“そのまま次の世代へ”受け継いでいくことを責務とし、持続可能な社会の構築を目指し自主的、積極的に行動します。

(1) 地球温暖化の防止
環境保全に取り組みます。環境と調和した技術と生産を追求し、地球温暖化の防止に貢献します。

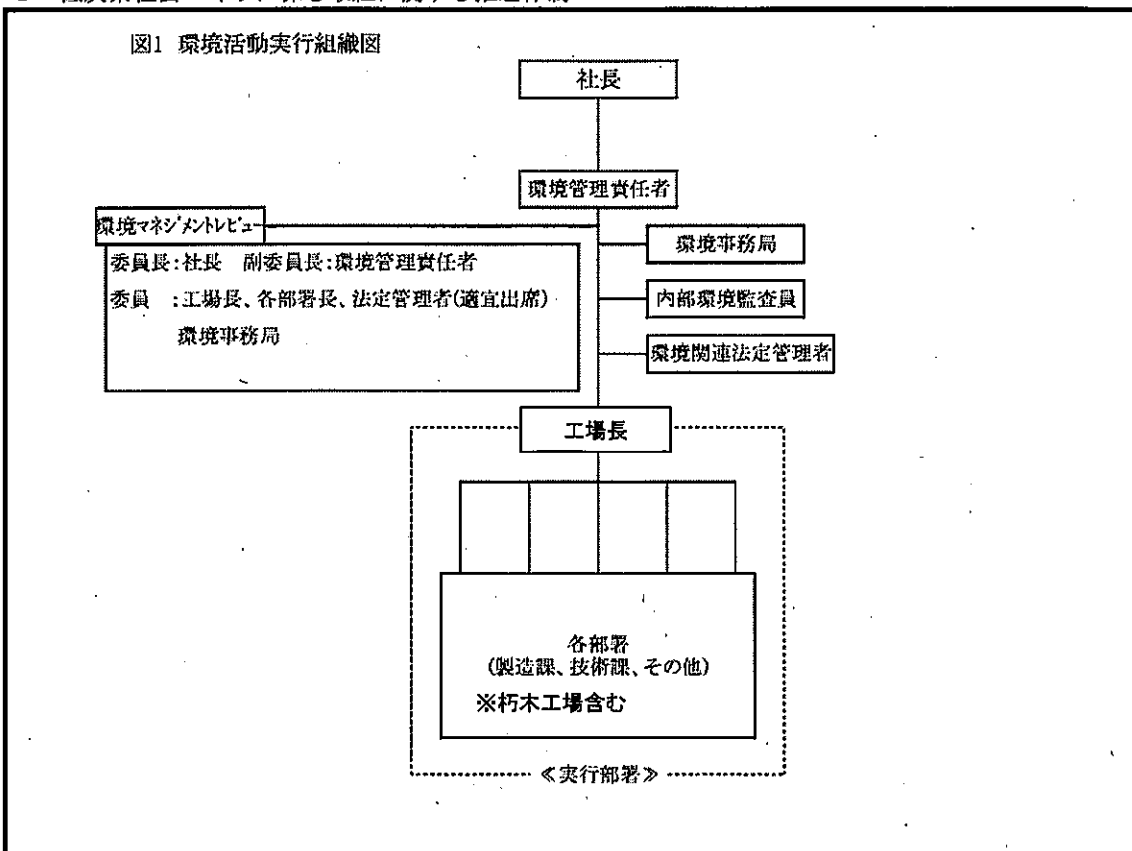
(2) 環境負荷の低減
環境マネジメントシステムを構築し、その継続的改善を行い、法規制を遵守し、環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努めます。

(3) 社会への貢献
地域社会の発展に関与し、環境と調和した豊かな社会の実現、生物多様性の保全に取り組みます。

環境行動指針

- ・企業活動全ての領域で、省エネルギー、省資源に取り組みます。
- ・環境関連の法律、条例、協定などを遵守し、自主基準を定めて一層の環境保全に取り組みます。
- ・環境に負荷を与える化学物質の代替物質への転換、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、環境負荷を低減します。
- ・環境教育、広報活動を実施し、全社員に環境方針を理解させ、環境への意識向上を図ります。
- ・環境に関する社会活動を通じ社会に貢献し人の健康や生態系保護に取り組みます。
- ・環境所轄当局や地域社会と建設的な意思の疎通に努め、環境管理の実施状況を公開します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

●空調

- ・不要時の換気ファン停止
- ・燃料転換 灯油・重油 → 電力、空調
- ・ファン インバータ化、高効率機器化
- ・空調 冷暖房時の窓、出入口扉などの開放禁止、空調機器のフィルターの使用開始前清掃、空調機送風量の最小化、断熱による空調効率の改善、設備更新時に最適空調システムを比較検討して導入

●照明

- ・昼休み時、不要な時、人がいない休憩所、会議室等、不要な場所でのこまめな消灯（自動点灯、自動消灯を含む）
- ・照明機器の間引き、
- ・看板照明やライトアップなどの停止
- ・窓際は自然光を利用し、照明の消灯
- ・工場内照明の高効率化、LED化
- ・照度基準の順守生産

●生産設備、圧縮空気等

- ・ライン停止時、非生産時の設備の元電源OFFや圧縮エア供給元バルブOFF徹底、生産可能なものは、休憩時間中の設備連続生産稼働（効率向上）
- ・休憩時間に連続稼働を期待しない設備については必ず停止、生産品物待ち時に空運転となっている機器の削減（搬送用エレベータなど）
- ・生産計画による生産設備稼働率向上（空運転防止）
- ・サイクルタイム短縮、取代削減、ポンプ・ファン インバータ化、高効率機器化（モータなど）
- ・制御盤内換気用など各種フィルター清掃、オーバーホール時にできる限り省エネ思想の盛込み、コンプレッサー 設備・配管について圧縮エア漏れの点検・修繕、コンプレッサー 圧縮空気供給圧の低減、コンプレッサー エア配管の圧損改善
- ・コンプレッサー 高効率機への更新、OA機器、ユーティリティパソコン、コピー機、オフィス機器の省エネモード設定及び不要時の電源OFF、アイドルストップの推進。

上記取り組み等を通じCO2排出量の削減行なっている。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	コンプレッサー更新による効率改善	2021年4月～ 2023年3月
2	プロセス改善対策	設備オーバーホールによる効率改善	2021年4月～ 2023年3月
3			
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

生産・技術・オフィス:CO₂排出量を2017年度から毎年1%以上改善し、2023年度には2017年度比△6%を目標とする。

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

環境貢献型製品の創出

基本的な考え方

これからの製品には、従来製品よりも高い性能とともに、より環境負荷を低減することが求められます。NSKグループは、企業理念に定める「円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざす」を実現するため、お客様や社会のニーズを的確に捉え、トライボロジー・材料技術・解析技術・メカトロ技術に生産技術を加えた4つのコアテクノロジーを駆使して、環境貢献型製品開発の基本方針に沿って環境貢献型の製品や技術の開発を進めています。そして、NSK製品を広く世界中に普及させていくことで、機械の高度化や環境にやさしい産業の発展に貢献し、社会全体の環境負荷低減を目指しています。

NSKグループの製品は、自動車や産業機械などに組み込まれ、摩擦をコントロールし、エネルギーの消費を減らすことができます。こういった製品の特性を活かし、お客様の使用段階での省エネルギー・省資源・快適性に向けた環境貢献型製品の開発に取り組んでいます。また、研究開発、設計、生産、使用、廃棄までのライフサイクルを通して、環境負荷の最小化を目指しています。

環境貢献型製品開発の基本方針

1. お客様での使用時に、省エネルギー・省資源に寄与する製品づくり
2. 製造時のエネルギー・資源使用量を低減した製品づくり
3. 環境負荷物質の使用ゼロをめざした製品づくり
4. 廃棄物、資源物、エネルギーなど人にやさしい製品づくり

技術開発でユーザーにとっての価値を創出
<https://www.nsk.com/jp/csr/environment/envfriendlyproducts/index.html>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

長期目標

環境貢献型製品によるCO₂排出量のオフセット(目標年度: 2026)

NSKグループ事業活動によるCO₂排出量(スコープ1+2+3)をCO₂削減貢献量で越える